

ライブラリー&ミュージアム コンサート

入場無料
全席自由

ガラス美術館企画展にちなんで
子どもから大人まで楽しめる情熱的な
ピアノコンサートをお届けします

日時 令和元年7月28日(日)

14:00~15:00

場所 TOYAMA キラリ 2階ロビー

プログラム

ソロ：ショパン/ 幻想即興曲、子犬のワルツ

連弾：ビゼー / 「子供の遊び Op.22」より

小さな旦那様と奥様、舞踏会 ほか

ピアノ

塚田 尚吾 (つかだ しょうご)

富山県立中部高等学校を経て京都市立芸術大学音楽学部を首席で卒業、市長賞・京都音楽協会賞受賞。同大学大学院音楽研究科修士課程修了。第13回北陸新人登竜門コンサートにて優秀賞を受賞し、オーケストラ・アンサンブル金沢と共演。他、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団と共演。



主催：富山市ガラス美術館

富山市立図書館交流行事運営委員会（読書推進係）

TEL：076-461-3100（ガラス美術館 庶務係）

〒930-0062 富山市西町5番1号 TOYAMA キラリ内

TOYAMA
キラリ



塚田 尚吾 プロフィール

富山県立中部高等学校を経て京都市立芸術大学音楽学部を首席で卒業、市長賞・京都音楽協会賞受賞。同大学大学院音楽研究科修士課程修了。2013年日本クラシック音楽コンクール大学の部全国大会第3位(最高位)。2015年岐阜国際音楽祭コンクール大学の部第1位。他、多数受賞。第13回北陸新人登竜門コンサートにて優秀賞を受賞し、オーケストラ・アンサンブル金沢とサン＝サーンスピアノ協奏曲第2番、ショパン第1番、ショスタコービッチ第1番を共演。京都精華学園高等学校とラフマニノフ第2番、宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団とモーツァルト第23番、岐阜県交響楽団とチャイコフスキー第1番、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団とモーツァルト第21番を共演。京都芸術祭音楽部門新人賞受賞、富山県知事賞及び北日本新聞音楽奨励賞受賞。大学内選抜によりピアノ専攻学内リサイタル、同大学卒業演奏会、読売新人演奏会、日演連主催リサイタル・シリーズに出演。金沢フレッシュコンサート20周年ガラコンサートにて東京芸術大学教授の迫昭嘉氏と2台ピアノで共演。これまでにピアノを留岡陽子、越野正信、関本昌平、上野真、野原みどりの各氏に師事。2014年度公益財団法人青山財団奨学生。2016～17年度宗次エンジェル基金/公益社団法人日本演奏連盟新進演奏家国内奨学金奨学生。現在、富山県を拠点に演奏活動及び後進の指導にあたっている。



連弾ピアノ奏者 藪下 将司

第9回横浜国際音楽コンクール審査員特別賞受賞。ウィーンにて、アレクサンダー・イェンナー氏のマスタークラスを受講。嶋直子、内橋素子、高森静香、鈴木賢太、鶴見彩、ウィーン国立音楽大学教授マインハルト・プリンツの各氏に師事。ラ・フォルジュルネ金沢2012、いしかわ・金沢風と緑の楽都音楽祭2018に出演。愛知セントラル交響楽団のメンバーと共演。2013年より「PLAY CLASSIC」野外音楽祭を企画し好評を得る。

プログラム

～独奏～

- イベール (フランス) / 「組曲」より おてんば娘、水晶の籠
シャブリエ (フランス) / スケルツォ・ヴァルス
プーランク (フランス) / 即興曲 第13番 イ短調
ストラヴィンスキー (アゴ스티編による) (ロシア) / バレエ組曲「火の鳥」より 終曲
ドビュッシー (フランス) / 「ベルガマスク組曲」より プレリュード
ショパン (ポーランド) / ワルツ 変二長調 Op.64-1「子犬」
幻想即興曲 嬰ハ短調 Op.66
エチュード Op.25-10 口短調「オクターブ」

～連弾(塚田 尚吾&藪下 将司)～

- フォーレ (フランス) / 「ドリー組曲」より ミーアーウ
ビゼー (フランス) / 「子供の遊び Op.22」より 小さな旦那様と奥様、舞踏会

※一部曲目が変更になる場合がございます。